

平成20年6月15日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007～2008年度
 課題番号：19520418
 研究課題名（和文）欽定訳聖書を中心とする英訳聖書におけるメタファーの認知意味論的研究
 研究課題名（英文）Research on Metaphors in the King James Bible and Other English Bibles

研究代表者
 橋本 功
 関西外国語大学・外国語学部・教授
 研究者番号：10022378

研究成果の概要：

旧約聖書原典におけるヘブライ語のメタファー表現を抽出し、それをギリシャ語訳聖書とラテン語訳聖書における古典語訳表現、及び、欽定訳聖書を中心とする英訳聖書における英訳表現と比較・対象し、ヘブライ語メタファーの英訳聖書における受容と変容の過程を明らかにした。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2008年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,600,000	480,000	2,080,000

研究分野：英語学

科研費の分科・細目：言語学・英語史

キーワード：メタファー、英訳聖書、ヘブライ語聖書、認知言語学

1. 研究開始当初の背景

英訳聖書、特に旧約聖書には数多くのメタファーが使用されている。これら英訳聖書のメタファー構造とその意味を、原典のヘブライ語のメタファー及びその古典語訳聖書における翻訳との比較・対照に基づいて明確に分析が行われことはない。

2. 研究の目的

本研究では、主に欽定訳聖書を主資料として、英訳聖書のメタファー構造とその意味を、ヘブライ語原典及び古典語訳聖書における翻訳表現を比較・対照し、英訳聖書のメタファー構造とその意味の変容と受

容について明らかにする。

3. 研究の方法

- (1) 旧約聖書原典のヘブライ語メタファーを主に「モーゼ五書」から抽出。
- (2) ヘブライ語メタファーのギリシャ語訳及びラテン語訳を調査。
- (3) 英訳聖書のメタファー表現を対応するヘブライ語聖書のメタファー及びその古典語訳聖書のメタファーと比較・対照。
- (4) 英訳聖書のメタファー構造とその意味を原典及び古典語訳聖書のメタファーと比較対照し英訳聖書におけるメタファー構造と意味の受容と変容の仕方を

分析する。

4. 研究成果

英訳聖書、主に欽定訳聖書におけるメタファー構造とその意味の受容方法及び変容の仕方が明らかになった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

1. 橋本功. “Hebraisms in English Bibles” *Studies in English Medieval Language and Literature*. Frankfurt am Main: Peter Lang. (平成 20 年 12 月) Vol. 22. PP. 3-16.
2. 橋本功・八木橋宏勇. 「旧約聖書における単発的メタファー表現と概念メタファー: 表現の間隙を埋めるものはなにか」『人文科学論集』(信州大学) (平成 20 年 3 月) 第 42 号. PP. 83-94.

[学会発表] (計 2 件)

1. 橋本功. ”Hebrew Influences on English Bibles”. The Society of Historical English Language and Linguistics (SHELL) (名古屋大学). 平成 19 年 9 月 7 日.
2. 橋本功. “The Influence of Biblical Hebrew on English”. 日本英文学会第 81 回大会シンポジウム (Foreign Language Influences in the History of English) (東京大学). 平成 21 年 5 月 31 日.

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他] (計 0 件)

6. 研究組織

(1)研究代表者

橋本 功 (HASHIMOTO ISAO)

関西外国語大学・外国語学部・教授

研究者番号 : 10022378

(2)研究分担者

無し

(3)連携研究者

無し